

せんだい映画村 夏季講座

花に嵐のたとえもあるぞサヨナラだけが人生だ

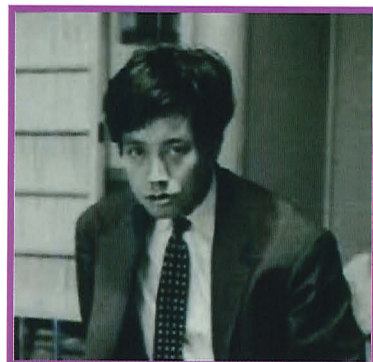
川島雄三の世界

川島雄三 1918年青森県下北郡田名部町（現在のむつ市）生まれ。明治大学卒業、学生時代は映画研究部に在籍。その後松竹大船撮影所監督部に入社。島津保次郎、吉村公三郎、小津安二郎、野村弘将、木下恵介らの助監督を経て1944年『還って来た男』で監督デビュー。コメディ映画を多く撮っていた。戦後はプログラムピクチャーを量産する。1954年日活へ移籍。『洲崎パラダイス赤信号』『幕末太陽傳』などの傑作を残す。筋萎縮性側索硬化症に冒され、1963年アパートの自室にて急死。享年45歳。独自の喜劇・風俗映画を中心的に、卑俗にしてハイセンスな人間味溢れる数々の作品を発表した。

第一部 10:30

映画監督・川島雄三 「サヨナラだけが人生だ」

ドキュメンタリー75分 構成・演出：保坂延彦
ナビゲーター：藤本義一 語り：若尾文子



11:45~12:15 保坂延彦監督のトーク

保坂延彦 映画監督・脚本家。1945年、山梨生まれ。明治大学卒。監督作品には、認知症をテーマに描いた耕治人原作「そうかもしれない」等。テレビドキュメンタリーの製作に多く取り組む。

第二部 12:30

この映画を見ずして川島映画は語れない

「貸間あり」 1959年・112分

監督・脚本：川島雄三、原作：井伏鱒二、脚本：藤本義一、撮影：岡崎宏三、音楽：眞鍋理一郎、出演：フランキー堺、淡島千景、桂小金治、浪花千栄子、乙羽信子、市原悦子

大阪の“アパート屋敷”に住む、個性豊かな人々と、“積極的逃避”をモットーとする五郎(フランキー堺)が織りなす傑作人間喜劇。原作は井伏鱒二の同名小説だが、川島監督と脚本の藤本義一が大胆にアレンジ。試写を見た井伏は、無言で試写室を去ったと言われる。登場人物たちのいささか常軌を逸したその言動には驚くばかり。

●日時：8月23日(火)

●場所：仙台市市民活動サポートセンター 仙台市青葉区一番町4-1-3
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ 市営バス「商工会議所前」徒歩3分

●参加費：【映画村会員】1000円【一般】前売・電話予約1300円 当日1500円

●主催・問い合わせ：せんだい映画村 070-5323-1939大石

●前売 桜井薬局セントラルホールで発売



第四金曜日は映画の日

上映会 9/23(金)

清水宏監督 珠玉の作品

10:30

「有りがたうさん」



1936年、78分、監督・脚本：清水宏、原作：川端康成、撮影：青木勇、出演：上原謙、桑野通子、築地まゆみ、二葉かほる、山田長生

「有りがたうさん」は南伊豆を廻る定期バスの青年運転手。狭い道をバスが通れる様に道をゆずってくれる人たちのみならず、牛や山羊、犬までも「有りがたう」と礼を言って走り去っていくことから付いたアダ名だ。川端康成の短編小説が原作のこの作品は、乗客たちや道行く人の人生の点景が若々しい描写で描かれた清水宏監督の代表作。

13:00

「簪」 かんざし



1941年、70分、監督：清水宏、脚本：長瀬喜伴、原作：井伏鱒二、撮影：猪飼助太郎、出演：田中絹代、川崎弘子、斉藤達雄、笠智衆、日守新一

下部温泉のある旅館は見延山への参詣人でごった返している。ある朝、帰還兵の納村は湯につかっている時に足に簪が刺さり大ケガを追う。やがて簪の落とし主・恵美が詫びにやってくる。納村は恐縮し彼女の身の上も知らぬまま、ほのかな思いを描く。原作は田舎生活をユーモラスに描く作風で知られる井伏鱒二。

参加費

1作品につき 800円

「映画村会員」

「シニアネット会員」の方 500円

会場：NPO法人 シニアネット仙台

「一番町サロン」

TEL 022-266 - 5650

仙台市青葉区一番町2-5-12

一番町中央ビル8F

地下鉄東西線「青葉通一番町駅下車」南出口1分

ドトールコーヒー仙台サンモール店 向いビル

